

川崎市中央卸売市場北部市場

令和2年(2020年)3月 水産物部 主要品目の市況

	種類	品目	市況の概要	数量(トン)	平均単価 (円)	数量の前年 同月比(%)	平均単価の 前年同月比 (%)
1	生 鮮	本まぐろ	メキシコ産天然物は増加しましたが、前年と比べ、取扱量はかなり減少、平均単価はやや上がりました。	10	2,722	68	104
2		めばちまぐろ	国内近海物が続いたため、取扱数量はやや増加、平均単価はやや下がりました。	2	1,970	107	97
3		はまち	鹿児島産(5kg前後)が主体で、取扱数量は前年並み、平均単価は前年よりやや下がりました。	22	969	101	92
4		あじ	九州を中心に水揚げがありました。不漁で浜高が続き、取扱数量は前年よりかなり減少、平均単価はかなり上がりました。	39	663	59	130
5		いか	山陰方面中心の入荷でした。前年と比べ、取扱数量は減少、平均単価はやや上がりました。	32	965	86	108
6		さば	三重中心の入荷でしたが、前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価はかなり上がりました。	33	544	69	122
7	冷 凍	めばちまぐろ	コロナウィルスの影響で、前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価は前年並みでした。	42	1,283	79	98
8		いか	八戸産中心でした。漁期が終了し、水揚げ量減から、前年と比べ、取扱数量は大幅に減少、平均単価は大幅に上がりました。	6	1,677	35	173
9		さば	コロナウィルスの影響やノルウェー産高騰のため、前年と比べ、取扱数量は大幅に減少、平均単価は上がりました。	5	633	45	119
9	加工	さけます	銀さけが大幅に減少し、前年と比べ、取扱数量は大幅に減少、平均単価はかなり下がりました。	23	825	32	73

[増減基準]

- ①並み、横ばい 前年比 \pm 2%以内
 ②やや増加(減少) 前年比 \pm 3~10%
 ③増加(減少) 前年比 \pm 11~20%
 ④かなり増加(減少) 前年比 \pm 21~50%
 ⑤大幅に増加(減少) 前年比 \pm 51%以上